

# 令和2年度 施策評価シート

<b>基本目標</b>		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
<b>政策</b>	520	生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
<b>施策</b>	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる
<b>施策の目標</b>	区民が、趣味や教養、文化活動など、さまざまな生涯学習活動に主体的に取り組み、生きがいのある生活を送っています。また、区民の間に生涯学習の輪が広がり、自身が習得した学習成果を地域活動に活かしています。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

<b>指標名</b>	「さまざまな学習活動に取り組んでいる」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					40.0					42.0
実績	38.1									
<b>指標名</b>	「身近な場所で学習活動ができる」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					53.5					60.0
実績	52.0									

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
生涯学習活動等については、民間等で各種講座が開催され、区民の自主的なサークルも活発に行われており、区が行うべきことの精査が必要である。 生涯学習センターについては、平成30年度、老朽化に伴う別館の廃止、本館への統合、大規模な修繕等を行い指定管理者による運営へと移行した。指定管理者に対し適切な助言・指導等を行っていく。	H29	405,162
	H30	594,595
	R1	187,376

## 3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	生涯学習活動については民間事業者によっても多数開催されており、区が行うべき事業の精査が必要である。

## 4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
生涯学習活動については、学びの成果を地域活動に活かしていく仕組みについて検討する。また、生涯学習センターについては、効率的運営とサービス向上に向けて、しっかりとモニタリングを行っていく。	
【今後の具体的な方針】	
学習の成果を生かすための仕組みについて検討していく	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	すみだ生涯学習センター管理運営	187,365	2,621	189,986	-	現状維持
					-	平成31年度
2	地域力育成・支援事業費 (リクエスト講座実施事業)	11	437	448	90	現状維持
					80	平成31年度
3	地域力育成・支援事業費 (すみだ生涯学習ネットワーク事業)	0	0	0	-	廃止
					-	平成30年度
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

# 令和2年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位
事 業 名	すみだ生涯学習センター管理運営		1
目 的	学びと交流をもとに、生涯学習活動はもとより、文化活動・地域活動を行う施設として位置付けている。		主管課・係（担当）
			地域活動推進課地域活動推進担当 03-5608-6200
対 象 者	すみだ生涯学習センター利用者		
根拠法令 関連計画	すみだ生涯学習センター条例 すみだ生涯学習センター条例施行規則		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 常勤2 指定管理者：JNすみだ共同事業体
事業内容	<p>施設概要 ホール、ドーム、リハーサル室、陶芸室、創作活動室、研修室、講習室、多目的室、和室、茶室、視聴覚室、視聴覚スタジオ、音楽スタジオ、編集調整室、音楽室、ピアノ室、無線室、展示ギャラリーを含むエントランスホール、学習相談コーナー、活動支援室、交流ラウンジ、駐車場等</p> <p>管理運営・事業 すみだ生涯学習センター条例に基づき、施設の管理運営を行うとともに、生涯学習講座及び生涯学習活動の促進等に係る各種事業を行う。</p>		
経 過	開始年度	平成6年度	終了予定
	<p>管理運営 [平成6年12月] すみだ生涯学習センター開設 [平成25年3月] プラネタリウム館閉館 [平成27年4月] ドーム閉館(プラネタリウム館跡) [平成30年度] すみだ生涯学習センター条例全部改正、本館について別館を集約化するための改修工事 [平成31年3月] 別館について老朽化のため閉館 [平成31年4月] 本館リニューアルオープン(指定管理者導入)</p> <p>事業 [平成12年度～平成29年度]特定非営利活動法人すみだ学習ガーデンへ委託・補助のもと、各種事業を実施 [平成30年度] 区庁舎にて実施の事業を含め、各種事業を大幅に見直しのもと、オリンピック・パラリンピックに向けた講座、情報誌「つながり」の発行などを実施 [元年度]指定管理者において、オリンピック・パラリンピック関連、生涯学習ボランティア等の各種講座、情報誌「つながり」の発行などを実施</p>		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和元年度より指定管理者(すみだJN共同事業体)による運営に移行している。		

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		354,217	404,076	417,983	625,813	195,784	258,188
決算額(令和元年度は見込み)		336,693	391,574	405,133	594,584	187,365	258,188
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		336,693	391,574	405,133	594,584	187,365	258,188
執行率(%)		95.1%	96.9%	96.9%	95.0%	95.7%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	光熱水費・消耗品等	7,519	役務費	ネット使用料	168	役務費	ネット使用料	174
役務費	清掃・廃棄物処理等	16,709	委託料	指定管理料等	164,121	委託料	指定管理料等	161,700
委託料	受付警備・事業等各種委託	134,988	使用料及び賃借料	借地料・PCリース料等	23,077	使用料及び賃借料	借地料・PCリース料等	88,399
使用料及び賃借料	借地料・PCリース料等	22,415				工事請負費	駐車場改修等	7,915
工事請負費	本館内部改修等	373,711						

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 ( 活 動 指 標 )	指 標	利用率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		70	令和7年度	目標	61	62	63	64
				実績	62.6	60.0	57.9	48.3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	65	66	67	68	69	70	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	別館廃止(本館への別館統合)の影響はある中でも、端的に利用者ニーズを数値として確認できることから選定した。							
	目 的 に 対 する 指 標 ( 成 果 指 標 )	指 標	「身近な場所で学習活動ができる」と感じる区民の割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
60		37	目標					
			実績	52				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	53.5					60		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民にとって、当該施設だけが「身近な場所で学習活動ができる」場ではないが、区民の求めに応じ、さまざまな学習活動の場を紹介する学習情報の提供機能も担う施設として、基本計画に掲げられた指標を選定することとした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	第2次公共施設マネジメント実行計画等に沿って、別館を廃止・事務事業を大幅に見直しのうえ、指定管理者を導入したところである。今後、効率的運営とサービス向上に向けて、しっかりと指定管理者へのモニタリングを行っていく。

課題・問題点
施設・設備の経年劣化に伴い、今後も計画的修繕を実施していく必要がある。



事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	派遣回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	令和7年	目標	10	10	10	10
				実績	10	6	8	6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	10	10	10	10	10	10	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区民が直接区政に関する知識を得る有効な機会である。 毎年度10回程度の派遣を目標とする。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	受講者の理解度(「よく理解できた」と回答した受講者の割合)				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
90%		令和7年	目標	90	90	90	90	
			実績	90	100	87.5	80	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	90	90	90	90	90	90		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
受講者の理解度を指標とすることによって、本事業が区民の学習支援に効果的であるかどうかを測ることができる。(講座終了後にアンケート調査を実施)								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区職員が行政に関する知識を区民に還元することは意義がある。 また、区職員を講師として派遣するため、コストを抑えられている。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの団体が制度を活用できるように、区ホームページ及びチラシなどにより、引き続き区民へのPRを図る必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が感染拡大した場合、リクエスト講座の利用を促進できない可能性や、講座自体を実施できない可能性がある。</li> </ul>



事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	ネットワーク参加団体数				単 位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
				目標	10	11	12	-
				実績	9	9	8	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	団体数増加により、協働事業の広がりや、新たな事業の始まりが期待できるため、団体数を指標とする。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	参加団体が連携・協働して実施した講座等の事業数				単 位	事業
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
			目標	5	6	7	-	
			実績	4	9	-	-	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標							
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加団体数の増加とともに、連携・協働事業が増えていくことを目標とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
廃止を検討	団体間の協働・協力関係が構築され、個々の連携により、多様な学習機会の提供が行われており、本事業の目的が果たされたと考える。また、「多様な学習機会の提供」から、「地域の担い手の育成・支援」へと、生涯学習に対する区の考え方も変遷しているため、令和元年度に本事業を終了した。

課題・問題点